

ぐるだいにニュース (号外)

発行所／福岡市天神1丁目西日本新聞会館14階集団力学研究所内日本グループ・ダイナミックス学会

編集担当／黒川正流

1994年度

クルト・レヴィン賞は三隅二不二氏に！

世界が認める日本のPM論と集団力学の実践

アメリカ心理学会の一部門である The Society for Psychological Study of Social Issues (SPSSI) は、このほどクルト・レヴィン記念賞の1994年度受賞者が三隅二不二氏（日本グループ・ダイナミックス学会会長）に決まったと発表した。

この賞は故レヴィンの偉大な業績を記念して設けられ、1948年度の第一回の授与以降、1955年を除き1993年度まで毎年計43名の個人と2つの研究機関に授与されている。

心理学領域の最高権威と目される歴代受賞者一覧には著名な研究者が綺羅星の如く並んでいるが、西欧以外の研究者は今回の三隅氏が初めてである。

三隅氏は慣例により来夏ロサンゼルスで開催されるアメリカ心理学会大会で受賞記念講演を行う。

受賞者を報じた SPSSI の NEWS RELEASE 記事の概要と歴代受賞者および記念講演の演題はつぎのとおり。

1994年度 Kurt Lewin 賞の告知

The Society for Psychological Study of Social Issues (SPSSI) は、1994年度クルト・レヴィン賞受賞者が三隅二不二氏であることを喜んで告知する。三隅氏は1993年から筑紫女学園女子大学の学長である。クルト・レヴィン記念賞は、グループ・ダイナミックス科学の先駆者であり社会問題の心理学的研究協会の創設者である故クルト・レヴィンにちなんで名付けられた。この賞は毎年「社会心理学的研究と実践活動の発展と統合に対する顕著な貢献」に対して授与される。

三隅二不二氏は彼の恩師である佐久間鼎氏がベルリ

ンでレヴィンと共に研究したことから、クルト・レヴィンの伝統をついでいる。第二次大戦後三隅氏はグループ・ダイナミックス研究に触れて発奮し、Research Center for Group Dynamics で研究に従事した。このことからやがて彼はリーダーシップPM理論 (Performance/Maintenance) を展開したが、この理論は学校・工場・政府機関・スポーツ集団・家族集団において一連の大規模な現場研究と実験研究によって検証されている。さらに彼は、レヴィンとその共同研究者が開拓した集団決定法を、たとえば長崎の造船所や横浜（福岡の間違い）のバス会社で事故率を劇的に減少させるなど、さまざまな状況に応用することによって著しく発展させた。三隅氏は日本の社会心理学者の大部分が所属する日本グループ・ダイナミックス学会の創設に尽力した。また集団力学研究所を設立した。日本の社会心理学者で、この分野の研究や組織活動について三隅 sensei の影響に触れたことのない人は少数であろう。1989年に三隅氏は「紫綬褒賞」を受けたが、これは天皇が毎年「輝かしい学術研究業績および日本文化の進歩への偉大な貢献」をした者に与える賞である。

選考委員会の構成は、Bertram H. Raven を委員長とし、Jacqueline D. Goodchilds および Harold H. Kelley であり、いずれも University of California at Los Angeles に所属する。

SPSSI は、重要な社会問題の心理学的側面の研究に関心を共有する三千人以上の心理学者および社会科学者の集団である。SPSSI は APA の一部門である。

クルト・レヴィン記念賞受賞者と受賞記念講演題目一覧

(1972年以前は氏名のみ) SPSSI NEWSRELEASE から許可を得て転載

1993	Ethel Tobach	
1992	John R. P. French, Jr.	A Symposium was chaired by Robert Kahn
1991	Eleanor Maccoby	Metamorphoses in the Study of Childhood Socialization
1990	Harold Kelley	Lewin, Situations, and Interdependence
1989	Robert Sommers	Local Research
1988	Robert L. Kahn	Nations as Organizations: Research on the Prevention of Nuclear War

(2面につづく)

1987	Thomas Pettigrew	Influencing Social Policy with Social Psychology		
1986	M. Brewster Smith	War, Peace and Psychology: A Semi-centennial Perspective		
1985	Irving Janis	Problems of International Crisis Management in the Nuclear Age		
1984	Milton Rokeach	Inducing Change and Stability in Belief System and Personality Structures		
1983	Bluma Zeigarnik	Kurt Lewin and the Soviet Psychology		
1982	Joseph McVicker Hunt	The Significance of Twig Bending or Plasticity in Early Psychological Development		
1981	Tamara Dembo	Some Problems in Rehabilitation as Seen By a Lewinian		
1980	Marie Jahoda	To Publish or Not to Publish		
1979	Orville G. Brim, Jr.	On the Properties of Life Events		
1978	Dorwin P. Cartwright	Theory and Practice		
1977	Urie Bronfenbrenner	Lewinian Space and Ecological Substance		
1976	Jessie Bernard	Homosociality, Solidarity, and Sex		
1975	Isdor Chein	There Ought to be a Law... But Why?		
1974	Donald T. Campbell	Qualitative Evaluation in Action Research		
1973	Herbert C. Kelman	Violence without Moral Restraint: Reflections on the Dehumanization of Victims and Victimizers		
1972	Jerome D. Frank	1963 Roger G. Barker	1955	授賞なし
1971	Charles E. Osgood	1962 Theodore M. Newcomb	1954	Margaret Mead
1970	R. Nevitt Sanford	1961 Robert MacIver	1953	Gardner Murphy
1969	Ralph K. White	1960 Stuart Cook	1952	Gunnar Myrdal
1968	Morton Deutsch	1959 Fritz Heider	1951	Tavistock Institute of
1967	Muzafar Sherif	1958 Research Center for		Human Relations
1966	Daniel Katz	Group Dynamics	1950	Gordon Allport
1965	Kenneth B. Clark	1957 Lawrence K. Frank	1949	Edward C. Tolman
1964	Alfred J. Marrow	1956 Otto Klineberg	1948	George B. Chisholm

勤務先や住所の変更、長期海外渡航、改姓名など会員移動事項は、まず学会本

四年に二度の International Sociological Association の大会が一九九四年七月十八日から二三日まで、ドイツの Bielefeld で開催されます。社会心理学部会には十八セッションが割り当てられており、これらのセッションでの発表希望者は部会責任者クック教授に連絡してください。

セッション題名やオーガナイザー氏名等の詳細は北海道大学文学部山岸俊男教授が情報をお持ちです。お問い合わせを。

Karen S. Cook. Dept. of Sociology
DK-40. University of Washington. Seattle.
Washington 98195, U.S.A.